

大学ソフトテニスチームにおける コーチング実践事例

～部則改訂に伴う選手・指導者の取り組み過程を手がかりに～

篠原 秀典 (日本体育大学)
高橋 憲司 (長崎国際大学)
高橋 和孝 (日本体育大学)
富永 梨紗子 (日本体育大学)

研究背景

- コーチ自身が指導現場で抱えている課題とその解決プロセスを記録し省察することは、より良いコーチングのために重要である。
- これまで、プレーヤーがプレーヤー自身を対象とし、競技力向上を目的とした研究は数多く報告されているが、コーチ自身のコーチング実践を対象とした研究は少ない。

研究目的

本研究では、実際に取り組んだチーム改革の一例をまとめ、振り返ることでコーチ自身のコーチング能力を向上させるとともに、他者の学びの機会へ繋げることを目的とした。

方法

- 所属チームの部則改訂におけるプログラムデザインを作成・実践し、その取り組み過程をビデオに記録した。
- そこから得られた情報をもとに質的分析を行なった。
- 参加者は、チームの部長・監督・コーチ・主将・主務・書記・各学年代表者とした。
(所属学生に参加を求めた理由は、部則改訂に必要な意見やアイデアを出してもらうとともに、部則運用に際して責任を持ってもらうためであった。)

コーチが抱えていた課題

- 部則が古いものであり、現在の社会状況に即していない。
- 組織運営に部則の介入がなされておらず、はっきりとした規定がない中で活動が行われている。
- 役員や会議などのシステム構築がされておらず、一部の責任者のみで組織運営が行われている。
- チームで掲げている「社会に出た際に大いに活躍できるように部員が主体的な活動を実施する」という理念に即した活動が実施できていない。

取り組んだチーム改革

- 現在の社会状況や学生の価値観にも即した、
現実的に運用可能な「部則」を目指し改訂を行った。
- 部則改訂を行うにあたり、コーチ・部員が協働できるための
「部則改訂実行委員会」を発足し、学生の意見を積極的に取り入れ、
チームの核となる事柄について検討する仕組みを作った。
- 「部則改訂実行委員会」を運用するにあたり、
学生は部則改訂に必要な意見やアイデアを出すとともに、
会議準備や議事録の作成、次回会議日程の調整などの事務手続きにも関与した。

プログラムデザインと変化

委員会発足
役割決定
意見収集

意見収集

意見交換
部則案完成

役員会承認

総会承認
完成

なかなか意見が出ず
シーンとした空気

グループワークを導入し
意見の出やすい環境づくり

ホワイトボードの活用で
意見を共有

委員会 5/2

委員会 5/9

委員会 5/16

役員会 5/22

総会 5/26

コーチ中心で
委員会準備

学生に
委員会の準備
を依頼

学生が
自主的に準備

学生主体で
総会の準備

時間をかけて
チーム文化へ

取り組みの様子（変化）

第1回委員会



硬い雰囲気・・・

第2回委員会



グループワーク導入
→意見交換が活発化！

第3回委員会



ホワイトボードの活用
→意見共有がわかりやすくなった！



結果

- 成果物としての「部則」が**完成**し運用が始まり、一つのチーム改革が成功した。
- そのプロセスで予想外の学びが起こり副産物を得た。

チームにとっての副産物

- チーム内でのコミュニケーションが促進された。
- 競技力向上とは別の課題に関して、
部員たちが主体的に動くようになった。
- コミュニケーションを取る機会を作ることによって
チームがポジティブに変化した。

コーチにとっての副産物

- 取り組みに関して思っていた反応と違い、**部員たちの主体性や自主性が認識**できた。
- 学生たちの**意外な能力を発見**し、新しい一面を知れた。
- 委員会終了後、**部員からチームについての相談を受ける**ようになった。

まとめ

- 今回の取り組みをまとめたことで、より良いコーチング実践を行っていくためのコーチング哲学や実践方法が鮮明になった。
- 部員と協力して進めたことで、部員とのコミュニケーションが促進し、主体性のある行動を促すことへと繋がった。

今後の取り組み

クラブ内に部員主体で進めるプロジェクトチームを発足

- 部員全員が安心・安全に活動でき、成長し続けるクラブであるために必要だと考える5つの項目（競技力向上・人間力向上・生活向上・危機管理・広報）についてチームを作り運用を開始した。
- 各項目に関わる事業の企画・検討・計画・実行・振り返りなどをチームスタッフと共に実施し、クラブ運営に関わっているという認識を持たせ、今回のチーム改革同様に、学生自身が主体となり、自主的な活動になるよう促すことで、学生の成長を促進できる、より良いクラブ作りを目指している。